



クラスで取り組んでいること

- ☆手洗いうがいの徹底
- ☆衣服の着脱を自分で行う
(ジャンパーのチャックなど)

今月の聖句

「ここに愛があります。」

(ヨハネへの手紙 I 4章10節)

今月の賛美歌

♪ 祈ってごらんよ わかるから

きみは神様にね 話したことあるかい？
 心にあるまをうちあけて 天の神様はね
 きみのことなんでも わかっておられるんだ なんでもね
 だから空あおいで 神様と一言 祈ってごらんよわかるから
 小川のほとりでも 人ごみの中でも 広い世界のどこにいても
 ほんとの神様は 今も生きておられ お祈りにこたえて下さる

今月の歌

♪ うれしいひなまつり

- 1.あかりをつけましょぼんぼりにおはなをあげましょ
もものはなごにんばやしのふえたいこ
きょうはたのしいひなまつり
- 2.おだいきさとおひなさまふたりならんですましが
およめにいらしたねえさまに
よくにたかんじょのしろいかお
- 3.きんのびょうぶにうつるひを かすかにゆする
はるのかぜ すこししろざけめされたか
あかいおかおの うだいじん

兄弟クラス(こひつじ1組さん、こうさぎ1組さん)と豆まきごっこをしました！前日、新聞豆作りをコーナーでしていると、「ちょっとまってね？鬼書いてくる！」と紙とペンで自分で鬼を書いて壁に貼り、その鬼に向かって新聞豆を投げる遊びを自分たちで展開する姿が見られました。当日は鬼のお面をつけて「がー！」「鬼だぞー！」と何度もシミュレーションをして本当の鬼になりきり、抜き足差し足で向かいましたが、いざこひつじさんの部屋に入るとこひつじさんの勢いに圧倒され、すぐに逃げている姿が可愛かったです(笑)その経験もあってか、こうさぎさんがお面をつけてお部屋に来てくれた時はとっても優しい投げ方をされていて、成長を感じました。

鬼さんのお手本してくれる人！という「はいはいやる！私もやりたい！」と自ら前に出てくれました^^

せーの！「ガオー！！」



切り開き

好きな色の画用紙を半分に折り、山の方からチョキチョキ切って開いてみると・・・！左右対称の面白い形が。「クリスマスツリーみたい！」「お顔ができた！」「お洋服！」と見立て、のりで貼り合わせ、作品を作りました！個性豊かで楽しい作品が沢山できました！最初は「やりたくない」と言っていたお友達も、いざやってみるとどんな形になるか楽しくて、「みてみて！お山がハートに変身した！」と嬉しそうでした♪



作品を飾ることで自分を認めてもらっているという自信や、お友達同士でのお話が広がるなど良いことが沢山あるそうです♡
 おうちでも是非お子さんの作品を飾ってみてはいかがでしょうか？



お別れ遠足<鴻巣山公園>

- アスレチック
- ローラー滑り台
- トランポリン



集団ゲーム

自分の好きな友達と好きな遊びをすることが楽しかった1学期。クリスマス会を経て3学期になり、皆で協力したり、ルールを守って遊んだり、1つのことをする楽しさを知ってくれたように感じます。今月は「カブラ積み大会」「伝言ゲーム」の2つをしました。カブラという積み木のような木製の板を4チームに分かれてどのチームが1番高いタワーができるかというゲーム(積み方は自由)では「作戦会議」をしたり、最初は好きなお友達同士で別々のタワーを作っていたけれど、それじゃ勝てないということに気が付き、途中からみんなで1つのタワーを作ることにしたり、逆に1回目の、1つのタワーに集中しすぎてしまったことで、最後の最後で崩れてしまった失敗を生かし2回目は沢山のタワーを作っておくことで1つ崩れても大丈夫なように工夫したり、大人が見ているにも関わらず作戦を立てて、びっくりしました。さらには最後負けたことが悔しくて泣いているお友達に寄り添い頭をなでたり、「4回して、みんなが1回ずつ勝てたらいいのに！」と負ける悔しさを知っているからこそその思いやりの言葉も聞こえてきました。自由活動でも「○○ちゃん、○○くんはダメ」という言葉がなくなり、20人以上で鬼ごっこをしている時もあり、団結力、諦めないなど心の成長をしみじみ感じています！



お弁当

お別れ遠足が延期になってしまった悲しさより、お弁当を2回食べられる嬉しさが伝わってきました！「3階で食べたい！」という案も出て、行ってみましたが雨が降って来てしまったこと、想像以上に風が冷たかったことでお部屋で食べることになりました！



冷蔵庫を作ろう！

ある日、給食を食べているとふと「お台所ってどんな何やろ！」「見に行ってみてほしいなあ！」の声が。どうしてそう思ったのか聞くと、「だって冷蔵庫とか見たいし！」と、お台所にある冷蔵庫が気になるようでした。「どんな大きさかな？」と聞くと、「16センチ！」「こーんなくらい！」「めっちゃめっちゃおっさい！」「人が入れるくらい！」と大盛り上がり。しかし、お台所に行くのは衛生面や安全面を考えると難しいということが分かり、「じゃあどうしよう？」というところから話し合いがスタート。最初は「外から見る？」「マスクをつけて行ったらいいんじゃない？」等、「見る」ことに対してこだわっていましたが、どんな冷蔵庫が想像しているうちに、「人が入れるくらいの冷蔵庫を作ろう！」と冷蔵庫を作る取り組みに繋がりました。



段ボールをつなげて、絵の具を塗って、冷蔵庫を作っているうちに、「私の家の冷蔵庫の上にはお菓子BOXがあるんだよ！」「そうだ！紙にお菓子とか書いて、この中に入れるのはどう？」との意見が出ました。早速「冷蔵庫には何が入っているかな？」と子どもたちに投げかけてみると、お菓子、コーヒー、お茶、牛乳、アイス、お野菜、コーラ、豆腐、ギョーザ、お肉、ハム、リンゴ、卵、味噌、お魚、ごはん、氷・・・と、短い時間で次々と発言がありました。「じゃあお台所さんの冷蔵庫には何が入ってるかな？」と聞くと「おうちと同じ！」と予想。「逆にどんなものが冷蔵庫に入ったら嬉しい？」と聞くと、第一声に聞こえてきたのは「お金！！」「おじさんとか！」「ゴジラ！」「おもちゃ！」と次々とユニークな発想が出てきました。その話し合いを踏まえて、実際に描いてみることに。いろんな大きさの画用紙と好きな色の絵の具を使って次々と面白い作品を作り進めています♪

